

資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会

委員一覧（25名）

会長	宮沢 洋一（自民）	有村 治子（自民）	鬼木 誠（立憲）
理事	神谷 政幸（自民）	井上 義行（自民）	柴 慎一（立憲）
理事	北村 経夫（自民）	石田 昌宏（自民）	上田 勇（公明）
理事	藤井 一博（自民）	高橋 はるみ（自民）	下野 六太（公明）
理事	村田 享子（立憲）	滝波 宏文（自民）	高橋 次郎（公明）
理事	新妻 秀規（公明）	船橋 利実（自民）	藤巻 健史（維新）
理事	青島 健太（維新）	本田 顕子（自民）	堂込 麻紀子（民主）
理事	竹詰 仁（民主）	舞立 昇治（自民）	
理事	吉良 よし子（共産）	青木 愛（立憲）	
			（会期終了日 現在）

（1）活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第210回国会の令和4年10月3日に設置された。3年間の調査テーマを「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和」とし、1年目は「資源エネルギーと持続可能社会をめぐる情勢」を調査項目として取り上げ、第211回国会の令和5年6月7日に調査報告書（中間報告）を議長に提出した。また、「原子力問題に関する件」について調査を行った。

調査の2年目は、「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和に向けた論点整理」を調査項目として取り上げ、第213回国会の令和6年6月5日に調査報告書（中間報告）を議長に提出した。また、「原子力問題に関する件」について調査を行った。

今国会において、理事会等で協議を行った結果、3年目は「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和に向けた戦略」について調査を進めることとした。

（2）調査会経過

- 令和6年12月24日（火）（第1回）
- 原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については会長に一任することに決定した。